

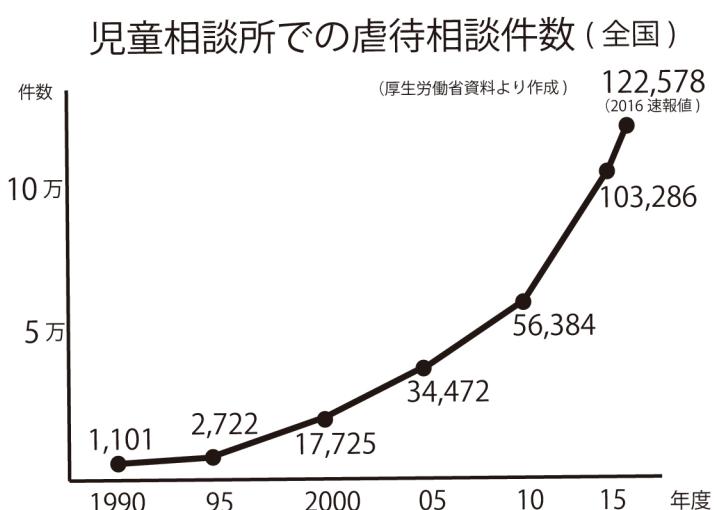
あいち児相ものがたり③

現在

子どもの生活と
権利守るとりで

兒童虐待急增

戦後40年かけて児童は、児童、家族とともに、地域の人々や関係機関、団体が協力してい、励ましあい、ともに育ちあう関係を築いてきました。



しかし、1990年
代、小泉内閣からはじ
まつた新自由主義政
策、規制緩和、市場原
理第一、競争の促進と

児童虐待急増
戦後40年かけて児童は、児童・家族とともに地域の人々や関係機関・団体が協力しあい、励ましあい、ともに育ちあう関係を築いてきました。

め、10万件を超えた。16年度は、12万件を上回る見通しです。とくに安倍政権の5年間、虐待相談件数が倍

いきます。

**児童虐待件数増加の
背景**

がいたことに注目し、下さる（左グラフ）。子どもの権利条約以降、日本社会の理解がすすみ、「児童虐待の社会的発見」といわれるよう市民の通告が増えた面もあります。

校、いじめなど児童福祉法にもとづく本来の相談に、児相は対応できしないのが現状です。困難に直面する児童

心してお問い合わせください
る中で同僚職員が神経病をすり減らし精神的疾患で辞めていくといふ事態が起きています。

めざむなし

戦争する国にさせない

「相の仕事」といいます。



愛知県児童相談所職員9
条の会ののぼりを掲げ「愛
知県民のつどい」に参加 =
2017年11月4日、刈谷市

児童相談所の仕事は、ヒューマニズムと民主主義の理想から生まれてきました。すべての人間が平等であって、価値と尊厳を有していることを基盤に置いています。

いま安倍政権がすすめている「戦争する國」づくりとは、決して相

容れないものです。
2016年2月、愛
知の児童相談所の所長
経験者16名を含め10
0名を超える元・現職
員は、「安保法制」戦争
法廃止を求めるアピーリ
ル」を発表(右)。昨年
再び「憲法9条改悪に
対する児相人の意念」
を表明。現在、安倍9条

戦争ある国にたどりなし

（最寄りの児童相談所
につながります）

にさせないと、う
二〇

一六年二月二十一日 です。

私たち愛知の児相人の思いはただ一つ！
児童の福祉の最悪の侵害、抑圧である戦争、
虐待、貧困に、私たちは反対します。ふたた
び、歴史の希望としての児童の未来をおび
やかすことがあってはならないのです。

千人の戦災孤児の慟哭を
一九四七年、私たちの先人たちは、この侵略戦争の深い反省の上に「歴史の希望としての児童」という痛切な願いを込め、児童福祉法を制定しました。その戦災孤児の「保護と癒し」の仕事からはじまつた児童相談所が来

ら“対話・協働”へどうりを通じ、対決か
信頼が生み出されていく。こうした仕事の全
体をもつと市民に知つてもらいたい」
問題が起これば、すぐ現場へ飛んでいく

児相人有志アピール（抜粋）

思い起こしてほしいのです。あのいまわ
しい大戦で二千万人をこえるアジアの諸國
民、三一〇万人の日本人のいのちがうばわれ
たことを。そして、両親を亡くした十二万三